

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)
福岡県立 朝倉光陽 高等学校

| | | |
|---|---|---|
| <p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p> | <p>社会性や思いやりの心を身に付け、地域を愛し地域を力強く支える人材を育成する学校 農業をはじめ実社会に通じる学びを活かして積極的に地域の活動に参加し、地域の活性化に寄与することを通して、実践力と豊かな人間性を備えた、人生をたくましく生き抜く人材を育成します。</p> | |
| <p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p> | <p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p> | <p>・志を高くもち、得意分野を身に付け、地域社会に貢献する人材を育成します。</p> |
| | <p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p> | <p>・普通科及び食農科学科ともに多様な類型を設け、進路実現に向け徹底した個別指導を実施します。 ・実践力の育成と進路実現のため、様々な資格取得・検定へのチャレンジができます。 ・少人数による授業を取り入れ、多様な学習及び体験により個性を伸ばします。</p> |
| | <p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p> | <p>「普通科」 進学・就職など目的意識が明確で、普通教科及び福祉・ビジネスの学習に興味・関心がある人 「食農科学科」 農業に関する専門的な知識を生かした進学・就職に意欲があり、食料生産技術や食品の製造・開発に関する学習に興味・関心がある人</p> |

| 学校運営計画(4月) | | | |
|---|---|---|------------|
| 学校運営方針 | 判断の軸を共有し、生徒の成長につながる教育実践を全員で積み重ねる。 | | 評価 (総合) |
| 昨年度の成果と課題 | 年度重点目標 | 具体的目標 | |
| <p>日常の教育活動や学校行事を通して、地域との関わりを重視した取組が定着し、ボランティア活動についても地域からの協力や生徒の高い参加意識が成果として表れた。生徒が主体的に企画・運営する生徒会行事を計画的に実施するとともに、学校行事や広報活動を通して、地域や保護者、中学校等に本校の教育活動を発信する機会を広げることができた。また、他校や関係機関との連携・交流を進めることで、活動の活性化を図ることができた。</p> <p>一方、学習面では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて観点別評価を活用した授業改善を進めてきたが、学力の定着と向上を一層図るためには、生徒が自ら継続して学習に取り組む力を高める指導の工夫が課題である。1人1台ICT端末の家庭への持ち帰り体制を整え、授業だけでなく家庭学習や課題への活用が進んだが、情報モラルに関する理解をさらに深め、適切に管理・活用する力の育成が求められる。</p> <p>進路指導においては、進路指導部と担任が密に連携し、生徒一人一人の希望に応じた丁寧な指導を行った結果、進路実現率100%を達成した。今後は、学科や類型の特色を生かし、「総合的な探究の時間」を体系的に位置付けることで、キャリア教育の一層の充実を図る必要がある。</p> <p>また、学校教育全般を通して、規範意識と人権感覚の育成に取り組んできたが、引き続き全教職員が共通理解のもとで指導に当たり、生徒一人一人が安全・安心に学校生活を送ることができる学校づくりを推進していくことが課題である。</p> | <p>未来を拓く魅力ある学校づくりのためのカリキュラム・マネジメントの推進</p> | <p>①保護者・地域・関係機関等への計画的かつ継続的な情報発信を行い、地域に信頼される学校づくりを推進する。 ②各学科の類型の特色を踏まえ、生徒の成長につながる教育活動の充実を図る。 ③学力向上及び社会人基礎力の育成に向け、教育課程の見直しや指導方法(ICT機器等)の改善を進める。</p> | |
| | <p>生徒の主体性を高める生徒会活動の活性化</p> | <p>①生徒会活動のあり方を学び、主体性の向上を図る。 ②学校行事等において、生徒が自ら考え、判断し、行動する場面を意図的に設定する。</p> | |
| | <p>地域連携の深化と広報活動の強化</p> | <p>①地域共創課を中心に、ボランティア活動や販売実習等を教育的意義を明確にして計画的に実施する。 ②本校の教育活動や生徒の成長の姿を、組織的に情報発信する。 ③杷木小学校・杷木中学校をはじめ近隣の小中学校との連携を継続・強化する。</p> | |
| | <p>キャリア教育の体系化と進路支援の充実</p> | <p>①3年間を見通したキャリア教育のあり方を整理し、体系的な指導体制を確立する。 ②個に応じた学習支援等を通じて、生徒一人ひとりの進路意識の形成を図る。</p> | |
| | <p>多様性を尊重し、互いを理解し合える学校文化の醸成</p> | <p>①安心して学べる学校環境づくりを推進する。 ②人権教育の充実を図り、他者を思いやり尊重する態度を育成する。 ③SST(ソーシャルスキルトレーニング)等を活用し、良好な対人関係能力の向上を図る。</p> | |
| | <p>生徒の安全管理の徹底</p> | <p>①実験・実習等における安全教育の徹底を図る。 ②防災教育の充実を図り、生徒の危機管理対応能力の向上を目指す。 ③危機管理体制の点検・強化を行う。</p> | |
| | <p>学校全体の意識改革と教職員の資質向上及びICTを有効活用した授業改善</p> | <p>①人権意識を高める職員研修会を実施する。 ②生徒指導の方針の共有し、判断の軸をそろえた指導を推進する。 ③授業力・指導力の向上を図る。</p> | |

様式3

| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等 |
|---|---|--|----------------------------------|----------------------------------|
| 教 務 | 基本的な生活習慣と学習態度の確立 | 生徒の出欠状況を常に把握し、情報を各部署と共有することで生徒への素早い指導を確実にを行う。 | 生徒授業アンケート | |
| | | 生徒の授業への取組状況を把握して適宜個別面談等を行い、授業への取組の改善を図る。 | | |
| | | 授業評価アンケートを行って授業内容の反省・改善を図り、生徒の授業満足度を高めることで、学習意欲の向上につなげる。 | | |
| | 校務の確実な遂行と迅速化 | 各学年、各部、各教科に対して先を見通した提案を心がけ、連絡調整の円滑化、連携の強化、及び計画的な校務遂行に努める。また行事等に際しては職員アンケートを実施し、内容の充実を図る。 | 職員アンケート | |
| | | 役割分担を明確にして各自が責任を持って業務に取り組む体制を整え、1つ1つの業務に対して慎重かつ丁寧に業務を遂行する。 | | |
| | 学習評価の改善および統合型校務支援システムの効果的運用 | 観点別評価と形成的評価を柱とした学習評価の改善を全科目で実施し、授業改善に取り組む。生徒が「何を学び、どのような力をつけたか」を見取りフィードバックすることで、主体性を引き出し深い学びを実現する。 | 生徒授業アンケート 職員アンケート | |
| 校務支援システムで行う業務の種類や作業の流れをマニュアル化することで、システム担当者の負担軽減と、運用できる職員の増加を図る。 | | | | |
| 生徒指導 | 行事をはじめ普段の教育活動の中で、生徒会・各種委員会等の活動をさらに前進させ、自己肯定感や自己有用感を育み生徒の成長につなげる。 | 生徒会等による校門等での挨拶運動をはじめ、行事での生徒主体の運営を通して活気ある学校づくりをする。 | 学校満足度アンケート | |
| | | 生徒会・各種委員会の会議を定期的に行い、各取組活動を推進していく。 | | |
| | | 学校行事では、生徒会を中心に企画・運営を实践させ、自ら前に進んで成長を促す。 | | |
| | 校則等の規定を検討し生徒が自発的・主体的に取り組めるように促し、改善が必要な場合は変更していく。また、安心安全な学校を生徒と教員ともに目指す。 | 職員だけでなく、生徒会にも校則等について検討させ、生徒が自発的に取り組むような内容にしていく。各規定等で課題があれば生徒の成長につながるよう改善していく。 | 生徒総会要望 いじめアンケート等 | |
| | | 各講演会等を通して、生徒の規範意識を向上させる。 | | |
| | | いじめは誰にでも起こりうるものと考え、未然防止とアンケート等を中心に早期発見・早期対応に努め、組織的に対応し、安心安全な学校を目指す。 | | |
| | 生徒指導を通して生徒が光陽生として自律できるようにする。 | 登校指導や見守りのための巡回指導等を通して、声かけや生徒観察、身だしなみ等の指導を實踐し、生徒の状況を教員間で共有し、些細な変化を見逃さずに迅速に対応する。 | 学校満足度アンケート | |
| | | 教員が生徒の情報を共有し、個々に対して粘り強く指導にあたることで生徒の成長につなげる。 | | |
| | | 生徒指導部教員を中心として積極的に生徒に関わり、生徒を認めていくことで学校での居場所を作り、問題行動の未然防止と中途退学防止等に努める。 | | |

| | | | | |
|------|---|---|--------------------------|--|
| 進路指導 | 生徒・保護者の希望を叶える進路保障を目指す | <p>定期的な進路希望調査を実施し、キャリア教育関連行事を通して、進路情報を収集・分析させ、適切な職業観の育成を図る。</p> <p>進路担当教員や進路支援コーディネーターからの「キャリア講話」を定期的に各学年ごとで実施し、より多くの進路関係情報を提供する。また、適宜自己診断をさせて、自己認識を高めさせる。</p> <p>履歴書作成・面接試験対策指導や一般教養・SPI試験対策を適宜行い、生徒全員に個別具体的な指導で希望進路実現をサポートする。</p> | 生徒の学校満足度アンケート 進路希望調査 | |
| | 3カ年を見通したキャリア教育を実施し、「幸せで豊かな人生」を想像する力を涵養し、自己肯定感・自己有用感を高めさせる | <p>学校全体でキャリア教育に取り組む体制を整える。各学年のキャリア教育に関する行事において、進路部教員の指揮の下、学年主任のサポートを受けながら役割分担を明確にし運営する。</p> <p>インターンシップや総合的な探究の時間の活動を充実させ、進路情報の収集力・コミュニケーション能力の向上、表現力の伸長を図る。</p> <p>地元の福岡・朝倉・うきはを支える「人財」となるために地域社会の課題についてよく理解させ、体験的な学習を通して「地域創生」の精神を涵養する。</p> | 進路セミナーやキャリア教育のためのアンケート調査 | |
| 図書研修 | 職員研修の充実 | <p>「主体的・対話的で深い学び」、「授業のねらい、目的に対する授業評価」、「ICT機器(1人1台タブレット端末)を活用した授業」を実践する相互授業参観週間を設定し、授業力向上や改善のための意見交流の場とする。</p> <p>生徒のメンタルケアに関する職員研修を実施し、多様な悩みを持つ生徒への対応技術の向上を図る。</p> <p>生成AIについての研修を行い、校務分掌や授業等についてのスキルを向上させ、時間外勤務の縮小を図る。</p> | 研修後アンケート | |
| | 図書教育の充実 | <p>図書委員会を定例化し、読書への興味関心を喚起するような図書館だよりを発行するなど活動を活性化する。</p> <p>学級文庫の活用を促し、読書への興味を喚起し、図書館利用を活性化する。</p> <p>図書委員会による「朝の朗読」を通して、読書への興味を喚起する。</p> | 学校満足度アンケート | |
| 保健環境 | 生徒の心身の健康管理と安全の保持 | <p>生徒の心身の不調の早期発見に努め、適切な対応を迅速にとる。</p> <p>SC・SSW、学級担任や関係職員、医療機関等と連携し、組織的に生徒の支援を迅速に行う。</p> <p>環境衛生検査を徹底し、安全の保持を図る。</p> | 学校満足度アンケート | |
| | 施設設備の安全点検と美化活動の推進 | 保健環境委員会による啓発活動を通して、ゴミの分別や日頃の清掃活動などの美化活動を推進していく。 | 学校満足度アンケート | |

| | | | | |
|--------------------------|---|---|------------|--|
| 第1学年 | 基本的な生活習慣の確立及び生徒理解 | 「時を守り、場を清め、礼を正す」を基本に、集団のルールに対する規範意識を高め、基本的な生活習慣が身につけられるように個別指導や学年集会を行い、継続的な指導を行う。 | 学校満足度アンケート | |
| | | SHRや学年集会、進路指導をとおして、先を見とおし主体的な行動がとれ、物や時間の自己管理ができる習慣を育成する。 | | |
| | | 個人面談等をとおして生徒理解と実態把握に努め、規範意識や他者への思いやり、地域への奉仕の心を育成する。 | | |
| 学習態度の育成及び基礎学力の向上 | 総合的な探究の時間を計画的に利用し、進路や類型選択について意識を高めて、生徒が主体的な判断・選択し行動ができるように指導を行う。 | 進路希望に関するアンケート | | |
| | 定期的な巡回を行い、授業規律及び光陽スタンダードの徹底を図る。また、教科担当や学年団と連携し、基礎学力や学力向上に取り組む。成績不振者への指導を行う。 | | | |
| 保護者や中学校及びSC・SSW等との連携 | 日頃から電話連絡や面談等をとおして保護者との連携を図り、中学校やSC・SSWと情報共有し、生徒の個性や特性に適した指導に努める。 | 学校生活アンケート | | |
| 第2学年 | 基本的な生活習慣の確立及び自己有用感の涵養、他者を思いやる心の育成 | 機を逃さず個別指導や学年集会を行い、「時を守り、場を清め、礼を正す」を基本に、生活習慣が身につけられるように指導を行う。 | 学校満足度アンケート | |
| | | SHRや学年集会など日々の指導、そして修学旅行をとおして、先を見通した行動がとれ、物や時間の自己管理ができる習慣を育成する。 | | |
| | | 定期的な個人面談や学年指導、そして修学旅行をとおして、学校や社会のルールを守り、マナーを身に付け、他者に対する思いやりの心を育てる。 | | |
| 進路に対する意識の向上と進路実現に必要な力の育成 | インターンシップやオープンキャンパスを計画し、その事前指導、事後指導にも力を入れる。また積極的な資格取得を促し、進路実現に向けた意識の高揚を図る。 | 学校満足度アンケート | | |
| 保護者やSC、SSW等と連携した生徒支援の実施 | 日頃の電話連絡や面談などをとおして保護者との連携を図る。またSC、SSW等と生徒情報を共有し、中途退学防止並びに生徒の心のケアに努める。 | 学校生活アンケート | | |

| | | | | |
|-------|---|---|---------------------------|--|
| 第3学年 | 社会人基礎力の定着と最上級生としての自覚を持たせる | 進路実現を念頭に、挨拶、返事の励行、時間厳守の指導を徹底し、基本的な生活習慣の改善と社会人基礎力の定着を図る。 | 学校満足度アンケート | |
| | | SHRや学年集会など日々の指導、そして進路指導をとおして、先を見通した行動がとれ、物や時間の自己管理ができる習慣を育成する。 | | |
| | | 学校行事や部活動で中心的な役割を担うことで、学校のリーダーとしての自覚を育成し、最上級生として模範となる。 | | |
| 第3学年 | 進路希望の実現 | 進路指導部や類型等と連携して進路決定に必要な情報を提供するとともに、個別指導や面談等をおとして、積極的な支援を行い、希望進路とのミスマッチを防ぐ。 | 学校満足度アンケート | |
| | | 進路実現に向けて計画的に総合的な探究の時間等を展開するとともに、面接練習の記録簿を作成・活用することで、継続的・段階的な指導を行い、基礎学力の向上及び語彙力・表現力の育成を図る。 | 進路希望に関するアンケート | |
| | 保護者やSC、SSWや関連機関との連携 | 進路決定や問題行動防止のため、電話連絡や面談等をおとして、家庭との連携を密にし、保護者の理解と協力を得る。養護教諭・SC・SSW等と情報を共有し、早期対応を心がけることで、生徒が安心・安全な学校生活を送れるようにする。 | 学校生活アンケート | |
| 食農科学科 | 進路実現を見据えた特色ある学習活動を展開し、勤労意欲の醸成を図るとともに、正しい職業観の育成を図る。 | プロジェクト学習はじめ、ICTを活用した魅力ある農業教育の推進に努めるとともに、「農業電子図書館」を活用することで主体的に学習する環境を整備する。また、各種資格取得率の向上を目指すことでキャリア教育の充実を推進する。 | 学校満足度アンケート 事業に関するアンケート | |
| | | 農業クラブの活動をおとして、生徒の科学性・社会性・指導性を育む。課題研究発表会を実施し、問題解決能力や探究する態度を身につけさせる。各種競技大会に出場する生徒の指導に尽力し上位入賞を目指す。 | | |
| | | 農業関連事業(ワンヘルス教育・農業DX事業)を活用し、地域の関連施設への訪問や外部講師を招くことで専門性を深め、実践力や豊かな人間性をもった生徒を育成するとともに、働く意欲を養い、正しい職業観とマナーを身につかせ進路実現に繋げる。 | | |
| 食農科学科 | 地域共創の理念に基づき、学習成果を活かしながら、地域から愛され、信頼される人材の育成と魅力ある農業教育の実践。 | 農場や地域資源を活用した学習を基本として、地域社会(自治体・地元企業・農業経営者)と連携しながら、地域農業及び関連産業に貢献ができるグローバルな視点をもった生徒を育成する。 | 学校満足度アンケート 事業に関するアンケート | |
| | | 地元農産物の生産やそれを使用した商品開発に取り組み、地域に活力を与える人材を育成し魅力ある農業教育を実践することで本学科の特色、特性を活かしたブランドイメージを構築する。 | | |
| | | 地域に対して、本学科の学習内容を理解してもらうため、販売会の実施や計画的に情報発信ツールを活用して、地域に愛され信頼されるような効果的な生徒募集及び広報活動に力を入れる。 | | |

| | | | | |
|---------|--|---|---|--|
| 地域共創 | 広報活動やボランティア活動の充実を図り、地域と連携しながら組織的に地域共創を実践する。 | SNSや各種イベントを通して、組織的に生徒の成長や活動を広く地域に発信する。 | 学校満足度アンケート 地域の方々へのアンケートや聞き取り ボランティア活動報告 | |
| | | 中学校との連携を図り、情報交換を積極的に行う。 | | |
| | | 地域と連携し、ボランティア活動や学習活動を充実させ、地域共創を実践する。 | | |
| 特別支援教育 | 支援が必要な生徒に対して適切な対応を検討し、進路実現と自立に向けた支援を行う。 | 対象生徒においてはSCやSSWと連携しながら、本人の困り感やその軽減に向けての手立て等について必要な支援を行う。 | いじめアンケート | |
| | | 特別支援教育委員会を開催し、対象生徒の情報共有や支援内容の検討を行い、組織的な支援と指導につなげる。 | | |
| | | 進路指導部との連携を図り、個の特性に応じた進路実現と自立に向けた支援と指導を行う。 | | |
| 人権・同和教育 | 人権・同和教育推進体制を確立し、同和教育の正しい理解と認識のもとに差別を排除し、互いを尊重し理解し合えるような人権意識の高揚を図る。 | 校内の人権・同和教育推進委員会で確認した指導案で、毎学期に学年単位で人権・同和教育特設授業を行い、生徒の人権意識の高揚を図り、生徒が安心して学校生活を送れる環境作りに努める。 | いじめアンケート 学校生活アンケート | |
| | | 学年や分掌と連携し、人権・同和教育関係の各種研修会、学習会に積極的に参加することによって職員の人権感覚を磨き、教育活動の充実を図る。 | | |
| | 生徒の実態を把握し、就学保障のため、関係機関・分掌と連携しながら、進路保障の取り組みを進める。 | 中学校、関係諸機関、SSW、SC、訪問相談員と連携を図り、課題を有する生徒の情報収集と支援を進める。 | いじめアンケート | |
| | | 全職員での生徒情報の共有化と迅速な対応に努めるため、生徒へのアンケート調査を実施し、いじめ対策教育相談委員会や生徒情報交換会を密にする。 | | |
| | | 就職差別を排除し、就職の機会均等を保障するため、担任や進路指導部、ハローワークとの連携を図り、進路保障の取り組みを進める。 | | |
| | | | | |
| 事務 | 学校経営方針の実現に向け、組織的連携のもと、的確かつ効率的な事務処理を推進する。 | 各分掌と連携・情報共有を図りながら、計画的な予算執行と適正な事務処理を行う。 | | |
| | | 生徒・保護者に対して、正確で丁寧かつ分かりやすい情報提供を行い、信頼される学校事務を推進する。 | | |
| | | 職員と連携し、校内施設・設備の適切な維持管理と教育環境の整備を行うとともに、安全で安心な学校環境の確保に努める。 | | |